

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 件名   | ベトナム RIA3 からの研究者招聘      |
| 実施箇所 | 国立大学法人 広島大学大学院統合生命科学研究科 |

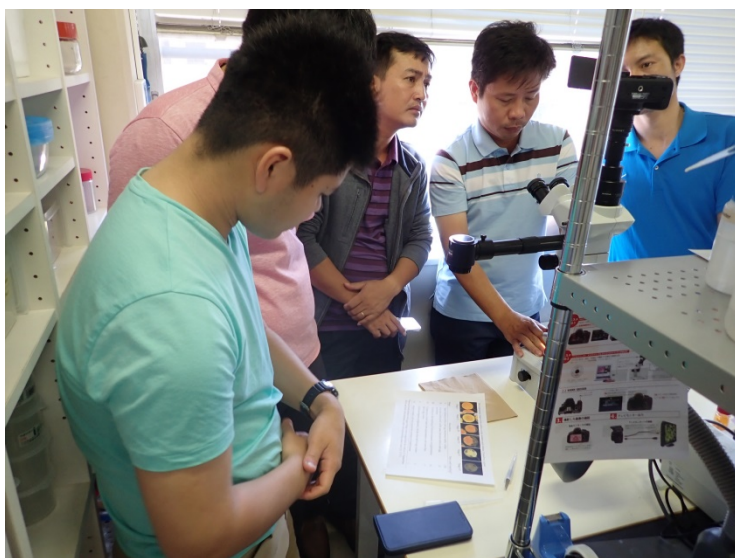
## 概要

ベトナムの Research Institution for Aquaculture No.3 から 2 名の研究者 (TRUONG Quoc Thai 博士、NGUYEN Van Dung 氏) を広島大学へ招聘し、ベトナムで実施中のウチワエビモドキ種苗生産の進捗に関する意見交換と、広島大学で実施しているウチワエビ類の種苗生産技術開発研究の見学および技術指導を行った。

5 月 28 日から 31 日までの 4 日間は、Truong 博士とベトナムでのウチワエビモドキ抱卵雌の畜養方法、卵発育段階の査定方法、幼生へのクラゲ給餌方法について打ち合わせを行った。とくに、幼生を収容する水槽や給餌頻度についての問題を深く議論した。

また、5 月 28 日から 6 月 7 日までの 11 日間に、Nguyen 氏には広島大学でのウチワエビ類の飼育研究に研修として参加していただいた。広島大学で研究に従事している大学院生・学部生も指導補助を務めた。実験室での幼生管理に加えて、野外でのクラゲ類の採集方法やウチワエビ類成体の体計測方法も学んだ。また、6 月 3 日に竹原市にある栽培漁業センターを訪問し、施設を見学した。

この招聘を通じてセミエビ類の種苗生産に関する情報・意見交換がなされ、両者にとって有意義な機会となった。また、広島大学の学生にとっては、海外の研究者と英語で学術交流をし、さらに食事等の機会を通じて文化交流も行い、貴重な経験となった。



学生らとともに卵の発育段階を調べる様子



双方の取り組みに関する意見交換

(文書作成 広島大学 若林香織)